

事業概要

背景

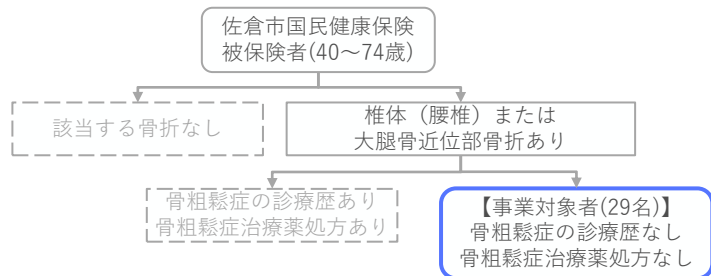
- 骨折は医療費の上位要因と言われていることから、レセプトデータより骨折による医療費負荷がどの程度かを把握することにした。
- 骨折の中でも、わずかな外力で生じる骨折(脆弱性骨折)を経験した人は骨粗鬆症による骨折をくり返すリスクが高い。しかし、現状の骨粗鬆症の治療率は十分ではない。そこで、骨粗鬆症による再骨折の可能性を伝えることで適切な検査と治療へ誘導し、健康寿命の延伸と医療費介護費の適正化を狙い事業に取り組んだ。

事業内容

- レセプトデータの分析(骨粗鬆症による骨折の医療費負荷等)
- 骨折リスクの高い対象者へ医療機関への受診勧奨

対象者

- 佐倉市の国民健康保険被保険者のうち、過去のレセプトデータ*から、脆弱性骨折(椎体骨折または大腿骨近位部骨折)を経験しているが、骨粗鬆症の治療の履歴がない方 *診療報酬明細書、本事業では2015年5月~2020年7月診療を使用範囲としている



体制・スケジュール

- アムジェン株式会社、株式会社キャンサーズキャンと骨粗しょう症疾患啓発の協定を2020年11月に締結し、勧奨通知は2021年3月22日に発送した。

実施方法

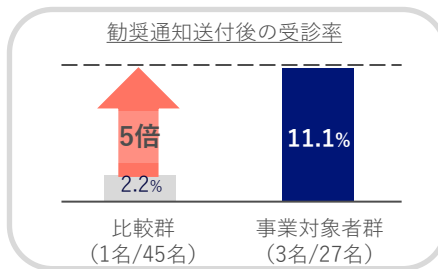
勧奨通知の内容

- 対象者の過去の骨折歴を示すことで骨粗鬆症が自分と関係のある疾患と認識でき、「骨折歴のあるあなたへ佐倉市からの大切なお知らせ」という印象を持たせる勧奨通知を作成した。また、事業協力を得られた市内の医療機関一覧を同封し、行動へと移しやすい動線を作った。
※勧奨資材サンプルは次頁を参照

事業結果・考察

勧奨結果

- 通知送付6ヵ月後の骨粗鬆症に関する医療機関受診率は11.1%であり、比較群の5倍の受診率であった。(対象者29名のうち通知送付前に骨粗鬆症に関する診療記録があった2名を除いた27名を結果解析の対象とした。また、比較群として、前年同時期の同定義の対象者の受診状況を設定した。)



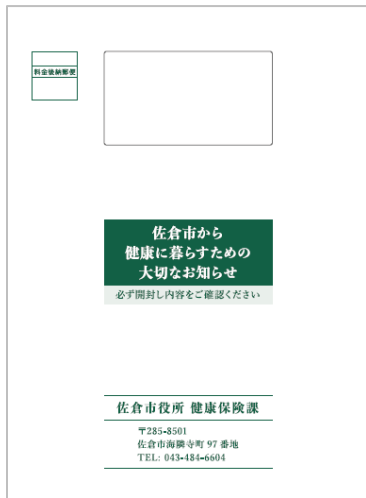
考察

- 骨折リスクが高い方に個別の啓発通知を送付することで、骨粗鬆症の診断率の向上に繋がることがわかった。
- 骨粗鬆症が要因で発生する骨折が医療費や介護費に与える負荷は大きいため、骨粗鬆症の啓発が必要と思われる。

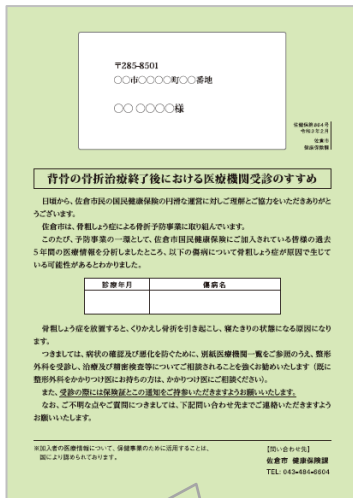
参考資料

- 骨折歴（骨折傷病名と最終診療年月）を記載した鑑文、医療機関リスト、リーフレットを封入した勸奨通知を送付した。

封筒



鑑文

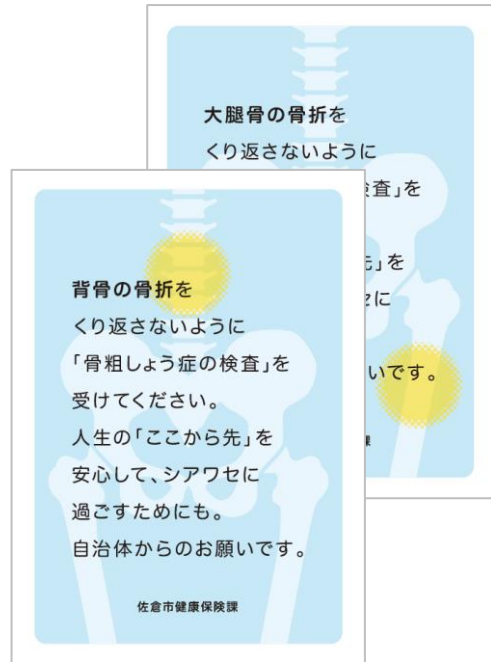


宛名情報と同じ面に骨折の診療記録(骨折名と受診時期)を掲載し、「私にとって大事な内容である」と印象付ける

医療機関リスト



リーフレット



参考資料2

- 佐倉市における、脆弱性骨折(大腿骨骨折または椎体骨折)の受傷後に骨粗鬆症の治療が行われていない(未治療または通院中断)ことによる大腿骨骨折の新規発生と医療費への影響の試算

